



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月5日

上場会社名 櫻護謨株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5189 URL <https://www.sakura-rubber.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 浩士
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 五嶋 貴幸 (TEL) 03-3466-2171
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,055	7.1	44	—	44	—	495	—
2026年3月期第1四半期	1,918	19.3	△145	—	△134	—	△92	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 224百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △48百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	256.00	—
2026年3月期第1四半期	△47.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	18,395	10,041	54.6
2026年3月期	19,619	10,010	51.0

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 10,041百万円 2026年3月期 10,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	50.00	—	70.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	△3.7	690	△44.0	630	△47.0	800	20.1	413.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ―社 (社名) 、除外 ―社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	2,024,000株	2026年3月期	2,024,000株
2027年3月期1Q	89,358株	2026年3月期	89,358株
2027年3月期1Q	1,934,642株	2026年3月期1Q	1,934,642株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書（第1四半期連結累計期間）	6
四半期連結包括利益計算書（第1四半期連結累計期間）	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やAI関連需要を背景に底堅く推移しております。一方、物価上昇の継続による個人消費への影響に加え、中東情勢を背景とした原油・エネルギー価格の上昇や供給制約など、先行き不透明な状況も続いております。

このような状況のもと当社グループでは、中東情勢の影響による原材料や副資材の供給制約への対応として、度重なる生産計画の見直しが必要とされたものの、代替調達先の確保等を進め事業活動を行っております。

その結果として、売上高は2,055百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益44百万円（前年同期は145百万円の営業損失）、経常利益44百万円（前年同期は134百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益495百万円（前年同期は92百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

売上高は、全ての事業で増収となりました。

利益面では、中東情勢を受けた原材料等の供給制約や価格上昇はあるものの、受注増対応の生産により固定費を吸収できたこと、付加価値の高い製商品が増加したことなどにより、例年と異なり第1四半期から利益を計上できております。なお、政策保有株式のTOB申込みと成立が当第1四半期にあったことから特別利益683百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は大幅な増加となりました。

第1四半期連結累計期間における報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（消防・防災事業）

消火栓ホースは前年同期比で販売本数が増加しておりますが、消防ホースは価格改定効果があるものの販売本数は減少しております。資機材は、前年同期に比べ災害備蓄用防災資機材が減少しているものの、救助用資機材の販売が増加しております。

利益面では、原材料価格や人件費の上昇、販促活動費の増加があったものの、付加価値の高い資機材の販売があったことから、第1四半期の損失は前年同期比でやや良化しております。

その結果、売上高624百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント損失（営業損失）は168百万円（前年同期は174百万円のセグメント損失）となりました。

（航空・宇宙、工業用品事業）

航空・宇宙部門は、前年同期に比べ官需大型機用エンジン用部品の販売が増加しております。工業用品部門では、原油貯蔵向けに加え溶剤貯蔵用タンクシールの販売数が増加しております。

利益面では、付加価値の高い製品の販売が当四半期に増加したこと、増加する生産量により固定費を吸収できたことなどから前年同期比で増益となりました。

その結果、売上高は1,302百万円（前年同期比9.3%増）、セグメント利益（営業利益）は310百万円（前年同期比169.3%増）となりました。

（不動産賃貸事業）

テナント収益は引き続き堅調に推移しております。

利益面では、管理人件費は増加しているものの、修繕費が減少したことから増益となっております。

その結果、売上高は128百万円（前年同期比2.0%増）、セグメント利益（営業利益）は32百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産

当第1四半期連結会計期間における流動資産は13,704百万円（前連結会計年度末比1,012百万円減）となりました。主として、現金及び預金が527百万円、棚卸資産が1,139百万円それぞれ増加した一方、売上債権回収により受取手形、売掛金及び契約資産が3,425百万円減少したことによるものです。

また、固定資産は4,691百万円（前連結会計年度末比210百万円減）となりました。

この結果、資産合計は18,395百万円（前連結会計年度末比1,223百万円減）となりました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間における流動負債は5,436百万円（前連結会計年度末比1,702百万円減）となりました。主として、支払手形及び買掛金が1,110百万円減少したことによるものです。また、固定負債は2,917百万円（前連結会計年度末比447百万円増）となりました。

この結果、負債合計は8,353百万円（前連結会計年度末比1,255百万円減）となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間における純資産は10,041百万円（前連結会計年度末比31百万円増）となりました。主として、親会社株主に帰属する四半期純利益495百万円と剰余金の処分193百万円による減少が要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては2026年7月29日に公表いたしました通期の連結業績予想の内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,824,215	3,351,458
受取手形、売掛金及び契約資産	5,806,819	2,380,939
電子記録債権	905,722	870,163
商品及び製品	385,127	925,834
半製品	1,076,709	1,427,428
仕掛品	2,041,302	2,177,938
原材料及び貯蔵品	1,352,832	1,463,987
その他	331,152	1,109,775
貸倒引当金	△6,662	△3,226
流動資産合計	14,717,220	13,704,299
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,242,801	1,238,805
土地	1,497,183	1,497,229
その他（純額）	807,308	854,535
有形固定資産合計	3,547,293	3,590,569
無形固定資産	12,826	12,645
投資その他の資産		
投資有価証券	947,493	526,079
その他	394,643	562,021
投資その他の資産合計	1,342,136	1,088,100
固定資産合計	4,902,256	4,691,316
資産合計	19,619,476	18,395,615

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,023,880	913,482
電子記録債務	619,312	496,209
短期借入金	2,030,000	1,570,000
1年内返済予定の長期借入金	948,430	1,004,107
未払法人税等	362,196	243,383
賞与引当金	352,840	506,908
役員賞与引当金	60,000	12,500
その他	742,589	689,932
流動負債合計	7,139,249	5,436,523
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	903,090	1,245,921
役員退職慰労引当金	293,161	275,515
退職給付に係る負債	135,015	134,558
資産除去債務	126,800	126,800
その他	911,559	1,034,413
固定負債合計	2,469,625	2,917,208
負債合計	9,608,875	8,353,732
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	285,430	285,430
利益剰余金	8,625,471	8,927,275
自己株式	△174,407	△174,407
株主資本合計	9,242,494	9,544,299
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	546,858	279,071
退職給付に係る調整累計額	221,248	218,513
その他の包括利益累計額合計	768,106	497,584
純資産合計	10,010,601	10,041,883
負債純資産合計	19,619,476	18,395,615

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,918,521	2,055,314
売上原価	1,559,197	1,460,955
売上総利益	359,323	594,359
販売費及び一般管理費	504,684	550,133
営業利益又は営業損失(△)	△145,360	44,225
営業外収益		
受取利息	107	186
受取配当金	8,695	10,133
受取地代家賃	4,631	5,777
為替差益	6,889	-
貸倒引当金戻入額	2,180	3,436
その他	2,286	2,089
営業外収益合計	24,790	21,623
営業外費用		
支払利息	11,655	18,154
社債利息	172	172
為替差損	-	2,669
その他	1,991	103
営業外費用合計	13,819	21,099
経常利益又は経常損失(△)	△134,388	44,749
特別利益		
投資有価証券売却益	-	683,040
特別利益合計	-	683,040
特別損失		
固定資産除売却損	-	616
特別損失合計	-	616
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△134,388	727,173
法人税、住民税及び事業税	2,296	275,238
法人税等調整額	△44,007	△43,334
法人税等合計	△41,711	231,904
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△92,677	495,268
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△92,677	495,268

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△92,677	495,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,182	△267,786
退職給付に係る調整額	1	△2,735
その他の包括利益合計	44,183	△270,522
四半期包括利益	△48,493	224,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△48,493	224,746
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
一定時点で移転される財	601,675	1,191,154	23,960	1,816,790	—	1,816,790
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	601,675	1,191,154	23,960	1,816,790	—	1,816,790
その他の収益	—	—	101,731	101,731	—	101,731
外部顧客への売上高	601,675	1,191,154	125,691	1,918,521	—	1,918,521
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	601,675	1,191,154	125,691	1,918,521	—	1,918,521
セグメント利益又は損失(△)	△174,356	115,320	29,665	△29,369	△115,990	△145,360

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△115,990千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
一定時点で移転される財	624,547	1,302,297	23,901	1,950,746	—	1,950,746
一定の期間にわたり移転される財	302	—	—	302	—	302
顧客との契約から生じる収益	624,850	1,302,297	23,901	1,951,048	—	1,951,048
その他の収益	—	—	104,266	104,266	—	104,266
外部顧客への売上高	624,850	1,302,297	128,167	2,055,314	—	2,055,314
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	624,850	1,302,297	128,167	2,055,314	—	2,055,314
セグメント利益又は損失(△)	△168,622	310,525	32,183	174,086	△129,860	44,225

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△129,860千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	69,075千円	73,024千円